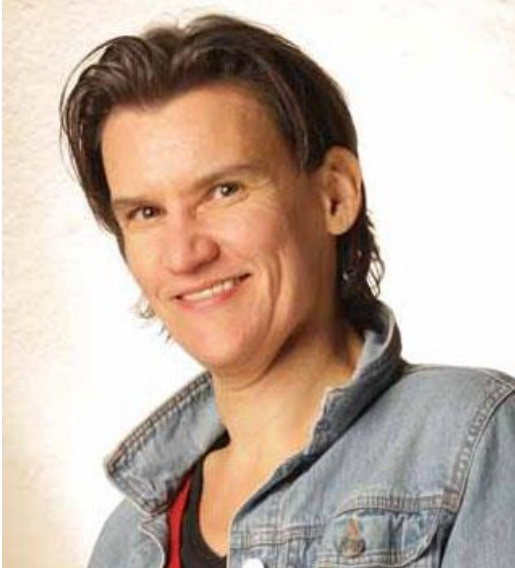


カロリーネ・グルーバー

声楽公開レッスン



7月26日(金)
14:30~20:25
会場: C405 教室

オーストリア出身。ウィーン大学において演劇、音楽学、芸術史、哲学を修めた。2003年ハンブルグ州立歌劇場でのモンテヴェルディ作曲『ポッペアの戴冠』の演出で、ヨーロッパで最も権威のあるオペラ情報誌「オーパングェルト (Opernwelt)」の選ぶ、“年間最高の演出家/プロダクション”部門にノミネートされた。以後、ハンブルグ州立歌劇場には毎年招聘されている。03年には、エアフルト歌劇場のオープニングとして、P.アーデルホルド作曲『マルティン・ルター』(世界初演)を演出。04年にはラモー作曲『ダルダヌス』を演出し、ボン歌劇場にデビュー。同年、ヴェルディ作曲『ナブッコ』、ヘンデル作曲『ジュリアス・シーザー』を演出。05年ハッセ作曲『クレオフィデ』でザクセン州立歌劇場(通称:ドレスデン国立歌劇場)にデビュー。同年、東京二期会のツェムリンスキー作曲『フィレンツェの悲劇』とプッチーニ作曲『ジャンニ・スキッキ』の演出を手がけた。ウィーン国立歌劇場には、2005-2006シーズンにプッチーニ作曲『妖精ヴィッリ』(指揮:シモーネ・ヤング)にて、デビューし、2017年にもショスタコーヴィッチの「賭博者」で再び登場、絶賛を浴びる。2019年には、ウィーン国立歌劇場150周年記念公演の「オランダ」世界初演でも演出を手がけ、2020年には東京二期会「ルル」の演出が決まっている。ザルツブルク、モーツァルテウム大学教授。

通訳:小森 輝彦 教授

①14:30~15:25
 モーツァルト作曲
 「コジ・ファン・トゥッテ」より
 “ねえ見て、妹よ”
 フィオルディリージ:高橋葉椰
 ドラペッラ:大附仁美

②15:30~16:25
 モーツァルト作曲
 「フィガロの結婚」より
 “お先どうぞ、きれいな奥様”
 スザンナ:井上知里
 マルチェリーナ:堀尾泉水

③16:30~17:25
 R.シュトラウス作曲
 「薔薇の騎士」より
 “夢だわ、本当ではあり得ない”
 ゴフィー:大高レナ
 オクタヴィアン:村崎葵

17:25~18:30 休憩

④18:30~19:25
 ドニゼッティ作曲
 「リタ」より
 “本当に彼女だ、なんと言う恐ろしさ”
 リタ:金澤実李
 ベッペ:中野太一

⑤19:30~20:25
 バーンスタイン作曲
 「キャンディード」より
 “華やかに着飾っても”
 クネゴンデ:川合真桜子
 助演:小宅慶子

聴講を、各組20名募集します。声楽助手のメールアドレス(s.e.c@tokyo-ondai.ac.jp)に申し込んで下さい。その際は、どの組を聴講したいかを指定して下さい。申し込み締め切りは7月17日(水)とします。基本的に先着順で受けつけますので、締め切り前でも受付が終わってしまうことがあります。注意して下さい。また7月18日以降にまだ空きがある場合は引き続きの申し込み、問い合わせはtcm.masterclass@glanz.clubまでお願いします。